

教科目名 国語総合 (General Japanese)

学科名・学年 : 全学科 1年

単位数など : 必履修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教員 : 山田繁伸

授業の概要			
中学時代に培った国語力をもとにして、総合的な国語基礎力の養成を目指す。したがって、現代文だけでなく古文漢文についても基礎的な読解を試みる。また、活動も読むことだけでなく、書くこと・聞くこと・話すことの各領域における活動も重視していく。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1)(C1), JABEE 目標(a)(f)	
(1) 近代以降の様々な文章を読む能力を高め、ものの見方・感じ方・考え方などを深める。(定期試験と課題)			
(2) 古典としての古文漢文を読む能力を養い、古典に親しみ人生を豊かにする態度を身につける。(定期試験と課題)			
(3) 国語で適切に表現する能力を習得し、伝え合う力を高める。(定期試験と課題)			
(4) 語句の意味・用法、漢字の読み書きなどに習熟し、国語の表現と理解に役立てる。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	現代文, 随想「それぞれの羅針盤」	○随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方、表現の仕方を読み取ることができる。 ○小説の文章に親しみ、話の展開を通して、そのおもしろさを読み取ることができる。 ○説話のおもしろさを通じて、古文の世界に親しむことができる。	【理解の度合い】
2	現代文, 随想「常識の常識」		
3	現代文, 話す・聞く「スピーチ」		
4	現代文, 小説「とんかつ」その1		
5	現代文, 小説「とんかつ」その2		
6	古文, 説話「児のそら寝」		
7	古文, 説話「季武が従者、主の矢先」		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○小説の中の情景や人物の心情を、表現に即して読み味わうことができる ○漢文の特色を知り、漢文の読み方の基礎を身に付けることができる。 ○格言、故事を読んで、漢文の世界に親しむことができる。	【理解の度合い】
10	古文, 随筆「亀山殿の水車」		
11	現代文, 小説「清兵衛と瓢箪」その1		
12	現代文, 小説「清兵衛と瓢箪」その2		
13	漢文, 訓点のつけ方		
14	漢文, 格言		
15	漢文, 故事「守株」「五十歩百歩」等		
16	前期期末試験		【試験の点数】 点
17	前期期末試験の解答と解説		
18	現代文, 評論「言葉の風景」	○文章を、その論理や構成に留意して、読むことができる。 ○詩に親しみ、その表現の特色や詩の言葉の微妙なはたらきを知ることができる。 ○古文の表現に慣れ、内容を理解できる。 ○中世の人々のものの見方や感じ方に関心を持つことができる。	【理解の度合い】
19	現代文, 評論「しゃぼん玉は丸い」		
20	現代文, 書く「通知と手紙」		
21	現代文, 詩「道程」等		
22	古文, 随筆「仁和寺にある法師」		
23	古文, 随筆「丹波に出雲といふ所あり」		
24	古文, 随筆「奥山に猫またといふもの」		
25	後期中間試験		【試験の点数】 点
26	後期中間試験の解答と解説	○主題をとらえ、人間の心理について考えを深めることができる。 ○虚構の仕組みを考え、効果的な表現を味わうことができる。 ○漢詩を繰り返し音読し、優れた表現に親しむことができる。 ○漢詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を味わうことができる。	【理解の度合い】
27	現代文, 小説「羅生門」その1		
28	現代文, 小説「羅生門」その2		
29	現代文, 小説「羅生門」その3		
30	漢文, 唐詩, 自然を詠んだ詩		
31	漢文, 唐詩, 友情を詠んだ詩		
32	漢文, 唐詩, 人生を詠んだ詩		
33	後期期末試験		【試験の点数】 点
34	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		【総合達成度】	
教科書	小町谷照彦, 他, 「新編国語総合」, 東京書籍 東京書籍編集部, 「新編国語総合学習課題ノート」, 東京書籍		
参考図書	広滝道代, 市川真文, 「漢検対応高校漢字の徹底演習」, 京都書房 浜島書店編集部, 「最新国語便覧」, 浜島書店		
関連科目	現代文, 日本語表現法		
総合評価	達成目標の(1)～(4)について、4回の定期試験と課題で評価する。 総合評価＝0.8×(4回の定期試験の平均点)＋0.2×(課題点) 総合評価が60点以上を合格とする。		
	【総合評価】 点		